

(4) 認知症に関する映画上映会の開催について

8

定例記者会見資料 令和8年8月6日 福祉部地域共生社会課

市では、認知症に対する新しい認知症観をテーマにした映画上映会を開催します。映画の上映、認知症の当事者と医師との対談、パネル展示を通して、市民一人一人が認知症を身近に考えます。

1 イベント名

「令和8年度奥州市『父と僕の終わらない歌』映画上映会～新しい認知症観を描くために～」

2 開催日時・会場

日時：令和8年8月28日（金）
午後1時30分～4時（開場：午後1時）

会場：奥州市文化会館（Zホール）中ホール

定員：500名（先着順）
入場無料、申し込み不要です。定員に達した場合、入場をお断りさせていただく可能性があります。

3 内容

- (1)認知症に関するオープニングトーク
認知症の当事者と医師との対談形式で、これからの暮らしや思いについて語り合います。
- (2)映画「父と僕の終わらない歌」上映会（93分）
アルツハイマー型認知症の男性が、家族や友人に支えられながら夢を叶えていく姿を描いた映画です。
- (3)会場内パネル展示
認知症に関する展示を実施します。定員に達しても閲覧は可能です。

4 「新しい認知症観」とは

令和6年1月1日に公布された、共生社会を実現するための認知症基本法の中において示された新しい考え方で、「認知症になってからもできること、やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間たちとの繋がりや希望をもち、自分らしく暮らし続けることができる」社会の実現を推進していくものです。

近年の少子高齢化の状況により、「認知症」は誰もがなりうる、より身近なものとなってきています。そのため、認知症になっても誰もが自分らしく安心して生きていくために、何ができるかを市民一人ひとりが考えていくことが大切です。

今回の上映会を通し、認知症に対する新しい考え方に目を向け、認知症になっても地域で共に支え合えるまちづくりを考えるきっかけとなることを期待します。